

農業コンクール大会で室さんらが受賞

▶ 室さんご夫妻



平成21年度熊本県農業コンクール大会（熊本県、県内農業団体、熊日主催）が2月4日行われ、本市から、阿蘇地域で先進的にアスパラガス栽培に取り組まれてきた室治夫さん・浩美さんご夫妻（宮地）が個別経営部門で「優賞」並びに「九州農政局長賞」を受賞。アスパラガスを導入したパイオニアとしての功績やその後の地域への貢献が評価されました。

また、組織農業部門で、地域の全大豆農家が加入し、大豆の農作業受託等に取り組む阿蘇町大豆生産組合（内田孝昭組合長）が「優良賞」を受賞。オペレーター育成を地域の担い手育成確保につなげると共に、生産を委託する農家の作業軽減にも貢献したことが評価されました。

▶ 阿蘇町大豆生産組合



▶ 阿蘇グリーンストック



なお、今回は50周年記念事業として「農業貢献賞」が設けられ、野焼きや輪地切り支援、畜産農家を支えるあか牛産直事業などで地域に貢献している財団法人阿蘇グリーンストック（佐藤義興理事長）が受賞しました。

韓国の教員が宮地小を視察

国際交流

韓国の生徒と交流



合唱のすばらしさをカメラに収める韓国の教員たち

韓国 全羅南道 順天教育庁の教員43名が、1月28日、宮地小学校を視察しました。一行は、日本の学校の授業内容や、一週間の授業時間、教育方針、特に力を入れている点などを実際現場で見て、韓国の教育に活かす目的で訪れたもので、出迎えた工藤校長や職員は、ハングル文字を入れたスライドを使って説明を行いました。続いて各クラスの授業を見学。音楽室では2年生全員が歌で歓迎しました。視察を終えた韓国の教員は「子どもたちが礼儀正しく授業態度も良い。上履きもきちんと並べてあるなど学校内が整頓されており、韓国に無くなりつつある大切な教育を見た」と感想。一行は、宮地小のほか大阪府吹田市の小学校を見学しました。



修学旅行で九州を訪れた韓国光州広域市の月桂中学校（31クラス、1,178人）の生徒35人が、1月27日、一の宮中学校を視察し生徒たちと交流しました。一の宮中の生徒たちは、この交流を大切な思い出にしておらおうと歓迎し、日本らしさが伝わる、和太鼓、剣道、空手、テコンドーを披露。なんとこれらの説明を英語で行い、勉強も頑張っていることもアピールしました。韓国の生徒たちはアイドルの歌を踊りつきで披露。若い世代らしい交流ができました。